

学友会より

学友会歴代役員

| 年 度 | 会 長 | 委 員 長 | 運 動 部 長 | 文 化 部 長 | 会 計 委 員 |
|--------|-------|-------|---------|---------|---------|
| 昭和26年度 | 高野 与己 | | | | |
| 〃 27年度 | 伊藤 泰一 | 小林 司 | 鳥居 俊雄 | 斉藤 秀晃 | 丸山 司郎 |
| 〃 28年度 | 〃 | 武藤 輝一 | 高橋 務 | 鶴生川守雄 | 岡町 泰 |
| 〃 29年度 | 伊藤 辰治 | 坂井 昭夫 | 石原 昭 | 横山 芳郎 | 竹山 勇 |
| 〃 30年度 | 〃 | 桜井 淑史 | 堀田 利雄 | 池田 忠雄 | 山崎 岐男 |
| 〃 31年度 | 〃 | 関 剛 | 前田富士雄 | 山宮 克巳 | 大石 正夫 |
| 〃 32年度 | 〃 | 杉本 一則 | 本田 純男 | 石川 喜一 | 曾我 淳 |
| 〃 33年度 | 〃 | 広沢 光郎 | 藤倉 一郎 | 草間 光俊 | 大塚 為和 |
| 〃 34年度 | 〃 | 浦野 力 | 平田 幸男 | 岩淵 真 | 藤井 健策 |
| 〃 35年度 | 松田 勝一 | 小船井良夫 | 岩崎 尚弥 | 山浦 鉄夫 | 横山 正義 |
| 〃 36年度 | 〃 | 斎藤 四郎 | 大山 修身 | 遠藤 晃 | 中条 節男 |
| 〃 37年度 | 〃 | 河路 明男 | 杉田 茂仁 | 大石 正晃 | 石田 良平 |
| 〃 38年度 | 〃 | 塚田 浩治 | 高宮 治生 | 諸橋 正昭 | 北条 泰輔 |
| 〃 39年度 | 野崎 秀英 | 益子 和徳 | 田沢 賢治 | 布川 修 | 清水 順也 |
| 〃 40年度 | 〃 | 宮下 正弘 | 春谷 重孝 | 篠原 利男 | 斎藤 隆三 |
| 〃 41年度 | 山内 峻呉 | 藤野 秀策 | 田山 満男 | 高木 敏之 | 小林 勲 |
| 〃 42年度 | 〃 | 石塚敬太郎 | 亀山 宏 | 新井 仁 | 新垣 学 |
| 〃 43年度 | 三国 政吉 | 設楽 篤幸 | 柳田 孝彦 | 佐藤 一明 | 大谷 信一 |
| 〃 44年度 | 大鶴 正満 | 宮村 達雄 | 斎藤 寿一 | 内藤 信行 | 野沢 晃一 |
| 〃 45年度 | 〃 | 酒井 真英 | 大沢 義弘 | 太田 隆志 | 関 利明 |
| 〃 46年度 | 〃 | 藤田 敏雄 | 岡田 俊治 | 本池 洋二 | 吉川 昭 |
| 〃 47年度 | 〃 | 古賀 良生 | 小池 哲雄 | 鈴木 順夫 | 須永 隆夫 |
| 〃 48年度 | 北村 四郎 | 吉沢 浩志 | 尾崎 進 | 中野 正春 | 小西 徹 |
| 〃 49年度 | 宮村 定男 | 市田 隆文 | 梶野 徹 | 塚田 一博 | 山際 岩雄 |
| 〃 50年度 | 〃 | 阿部 正 | 浅井 忍 | 小柳 清光 | 鈴木 賢史 |
| 〃 51年度 | 〃 | 吉川 時弘 | 牧 裕 | 鈴木 孝明 | 吉成 仁見 |
| 〃 52年度 | 〃 | 山本 康行 | 矢口 輝仁 | 谷沢 龍彦 | 松尾 仁之 |
| 〃 53年度 | 渡辺 巖一 | 成澤林太郎 | 佐藤 信昭 | 大柿 徹 | 島垣 齐 |
| 〃 54年度 | 〃 | 日野 佳昭 | 朴 鐘大 | 丸山 晋司 | 広川 恵子 |

| | | | | | |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 昭和55年度 | 渡辺 巖一 | 小沢 幸弘 | 小板橋 宏 | 齊藤 徹 | 田先由紀子 |
| 〃 56年度 | 〃 | 森 宏 | 林 賢 | 湯口 琢磨 | 竹田 弘 |
| 〃 57年度 | 茂野 録良 | 西 慎一 | 中嶋 祐一 | 田中 朝雄 | 伊藤 清 |
| 〃 58年度 | 〃 | 加藤 博之 | 丸山 倫夫 | 内山 睦 | 庭野 慎一 |
| 〃 59年度 | 〃 | 山本 智章 | 梶川 真樹 | 金子 晃一 | 吉澤 豊久 |
| 〃 60年度 | 〃 | 伊藤 拓緯 | 吉沢 昭 | 古寺 利彰 | 建部 祥 |
| 〃 61年度 | 大西 義久 | 高橋 美德 | 関口 秀隆 | 小林 武弘 | 樋口 砂里 |
| 〃 62年度 | 〃 | 加藤 公則 | 飛田 俊幸 | 村越 毅 | 大塚 和朗 |
| 〃 63年度 | 〃 | 名村 理 | 渡辺 竜助 | 坂本 龍彦 | 小宅 睦郎 |
| 平成元年度 | 〃 | 藤田 亘浩 | 大谷 哲郎 | 田中 純太 | 大倉 裕二 |
| 〃 2年度 | 武藤 輝一 | 平田 丞 | 大橋 学 | 瀧澤 正浩 | 新野 浩子 |
| 〃 3年度 | 〃 | 花澤 秀行 | 齋藤 義之 | 諸田 哲也 | 五十嵐幸絵 |
| 〃 4年度 | 柴田 昭 | 角南 栄二 | 吉村 淳一 | 小須賀基通 | 小原澤明子 |
| 〃 5年度 | 〃 | 長倉 成憲 | 豊島 勝昭 | 菊池千鶴男 | 斎藤 俊英 |
| 〃 6年度 | 荒川 正昭 | 山崎 哲 | 北原 洋 | 加納 恒久 | 津久井宏行 |
| 〃 7年度 | 〃 | 内田 靖之 | 渡辺 慶 | 高橋 直樹 | 古山 礼子 |
| 〃 8年度 | 〃 | 内藤 哲也 | 伝田 博司 | 青木 賢治 | 永田 裕子 |
| 〃 9年度 | 〃 | 中枝 武司 | 小澤 拓也 | 首村 守俊 | 菅原 和子 |
| 〃 10年度 | 岩淵 眞 | 上村 顕也 | 渡辺 聡 | 岡崎 健一 | 濱 ひとみ |
| 〃 11年度 | 〃 | 三浦 崇 | 三浦 理 | 岡田 英 | 水島 由貴 |
| 〃 12年度 | 山本 正治 | 芳澤 淳一 | 森 俊平 | 向井 玄 | 竹内 明子 |
| 〃 13年度(前) | 〃 | 中野 雅人 | 百瀬 能成 | 北嶋 俊樹 | 斎藤 朋子 |
| 〃 13年度(後) | 〃 | 古谷 健太 | 岩崎 友洋 | 宮下 光弘 | 土谷 美和 |
| 〃 14年度 | 〃 | 松井 亨 | 庄司 寛和 | 野村久美子 | 柏木 静 |
| 〃 15年度 | 〃 | 荒川 博之 | 佐藤 信宏 | 本多 正幸 | 吉田 千絵 |
| 〃 16年度 | 〃 | 前田 知世 | 藤井 俊英 | 平石 尚久 | 菅沼 大 |
| 〃 17年度 | 〃 | 白木 健悠 | 志藤 宏計 | 石澤 正博 | 酒井 理恵 |
| 〃 18年度 | 内山 聖 | 小松原孝夫 | 塚野 浩明 | 鈴木 翼 | 仲川 真由 |
| 〃 19年度 | 〃 | 高本 大路 | 白石 英晶 | 高橋 駿介 | 浜野由花子 |
| 〃 20年度 | 〃 | 文 智勇 | 水流 宏文 | 中島 翔 | 河合 裕子 |
| 〃 21年度 | 高橋 姿 | 町田 圭介 | 高田 一哉 | 風間 高志 | 高野 淑美 |
| 〃 22年度 | 〃 | 蛭間 弘光 | 相馬 大輝 | 米山 俊之 | 桑俣 貴恵 |
| 〃 23年度 | 〃 | 安藤昭一朗 | 鈴木 啓資 | 工藤 千佳 | 原田 瑞生 |
| 〃 24年度 | 〃 | 宜保 智樹 | 平井悠一郎 | 河辺 啓太 | 町田枝里華 |
| 〃 25年度 | 〃 | 本間 博文 | 長櫓 宏規 | 永井 貴大 | 黒澤めぐみ |
| 〃 26年度 | 牛木 辰男 | 稲葉 聡 | 塩崎 陽香 | 村岡 拓磨 | 竹田 遼 |

| | | | | | |
|--------|-------|-------|--------|--------|--------|
| 平成27年度 | 牛木 辰男 | 今井 啓太 | 上石 稜 | 荻根 沢真也 | 大関 墨 |
| 〳 28年度 | 牛木 辰男 | 染谷 拓郎 | 大久保 升誉 | 田中 奨 | 王 培冰 |
| 〳 29年度 | 牛木 辰男 | 島田 哲郎 | 谷口 環 | 中島 幸彦 | 松原 良樹 |
| 〳 30年度 | 染矢 俊幸 | 小柴 多郎 | 宇敷 雅人 | 柳井 謙佑 | 栗田 菜花 |
| 令和元年度 | 染矢 俊幸 | 諸田 優介 | 浅見 大輔 | 榊原 尚敬 | 土田 紗愛 |
| 〳 2年度 | 染矢 俊幸 | 佐竹 優紀 | 楨 廉 | 高橋 瑞喜 | 原 知花 |
| 〳 3年度 | 染矢 俊幸 | 川澄 駿 | 今道 仁 | 劉 炯毅 | 北神 桃子 |
| 〳 4年度 | 染矢 俊幸 | 久住 宙晃 | 保坂 拓海 | 佐藤 耕太郎 | 小居 結 |
| 〳 5年度 | 染矢 俊幸 | 櫻井 優馬 | 弘瀬 智也 | 古澤 龍ノ輔 | 長谷川 愛理 |

医学部医学科学友会小史

医学部医学科学友会は、先輩の絶えざる努力と精進により、輝かしい歴史と伝統を築き上げてきた。ここにその変遷を辿り、学友会の歩みの跡を述べてみたいと思う。

明治43年9月、第1回生入学式と共に学友会の前身である「攻瑤会」が創立。会長に学長池原康造内科教授が就任。10月24日校内庭球部大会が開催されその活動を開始した。大正元年12月15日機関誌「攻瑤会雑誌」第1号が発刊され、以後大正11年新潟医科大学開設に伴う学友会発足迄の間20号を数えた。

官立新潟医科大学時代

大正11年4月1日、単科医科大学として発足。これに伴い攻瑤会に代って新潟医科大学学友会の設立がなされ、大正12年には、すでに学友会が結成されていた。結成と同時に会則が定められ、学芸関係では文芸部、音楽部、弁論部、スポーツ関係では庭球部、水泳部、旅行(山岳)部、陸上競技部、弓道部、スキー部の10部が設けられ、会長には初代医科大学長富永忠司内科教授が推された。

昭和6年3月31日、富永学長から学友会解散の命が下される。当時の世相、思想的な問題等々極めて重大な事態にあったようだ。これと共に大正15年6月、第1号を発刊した文芸雑誌「鼓動」は純文芸雑誌から出発し、次第に学友会会報的性格をもつようにな

り、学友会各部部報を収載し始めていたのである。

学友会解散以後昭和21年に至る迄学友会は存在せず学生は各々好むところに従って同好の士を募り、教職員・学生が一体となって親睦と学業の余暇を楽しみ合い、その数は昭和15年1月現在30団体の多きに達していた。しかし軍部の独裁が強化されると共に自由な活動も制限を受け、学内諸団体の解散が行われ、昭和16年4月15日、新潟医科大学報国団の結成をみるに至る。各部は班という名に変わり、学生、生徒は必ず一つ以上の班に加入せねばならなくなった。しかし従来の自由なクラブ活動は一片の規則に変わることなく脈々と生き抜いて来たのである。

昭和20年、敗戦後の深刻なインフレにもかかわらず報国団のクラブ活動から脱皮した学友会の復興が企画され、次々と各部の復活が行われた。

国立新潟大学医学部時代

昭和20年5月31日、新潟医科大学は国立新潟大学の医学部として統合され、学友会も今日の新潟大学医学部学友会となり、昭和26年11月1日会則制定をみ、昭和38年3月1日全部改正を行い、現在に至っている。

以上、概略を述べてみたが、詳細については「新潟大学医学部50年史」、「新潟大学医学部75年史」、「攻瑤会雑誌」ならびに「鼓動」その他各雑誌を参照されたらよいと思う。

医学部医学科学友会の現状

総 会 員 数 899名
正 会 員 数 752名
特 別 会 員 数 147名

学 友 会 役 員

会 長 佐藤 昇
委 員 長 櫻井 優馬
副 委 員 長 弘瀬 智也
古澤龍ノ輔
会 計 委 員 長 長谷川愛理
監 事 阿部 宏毅
荒井 遥
板垣 結人
小山 豊昌
金子 夏穂
小林 東樹
佐藤 巧宇
高瀬 晶
高橋 侑聖
田中 愛子
中嶋 大和
中田 聖乃
中村 昂暉

西野 弥佑
新田 京香
萩原 彩登
長谷川 耀
原 直希
平石 啓人
平塚 侑
松崎 倭
三浦 優
三宅 一輝
三宅 俊平
村上 桂

運 動 部

| 部 名 | 部 長 | 代 表 者 |
|---------------|--------------------------------|-------|
| 準 硬 式 野 球 部 | 阿部理一郎 (皮膚科・教授) | 上村絳太郎 |
| 軟 式 野 球 部 | 堀井 新 (耳鼻科・教授) | 西沢健太郎 |
| 硬 式 庭 球 部 (男) | 寺井 崇二 (消化器内科・教授) | 安居 優作 |
| 硬 式 庭 球 部 (女) | | 清水 若菜 |
| 軟 式 庭 球 部 | 高橋 昌 (災害医療・教授) | 渡部裕太郎 |
| サ ッ カ ー 部 | 柏村 健 (先進心肺血管治療学講座・特任准教授) | 越後 皓太 |
| ラ グ ビ ー 部 | 大石 誠 (脳神経外科・教授) | 西川 僚哉 |
| ゴ ル フ 部 | 染矢 俊幸 (精神科・教授) | 佐藤 遼平 |
| 陸 上 競 技 部 | 柿田 明美 (脳研リソース・脳疾患標本資源解析学分野・教授) | 姉崎 航也 |
| ス キ ー 部 | 馬場 洋 (麻酔科・教授) | 小林 洸翔 |
| ワンダーフォーゲル部 | 西條 康夫 (腫瘍内科・教授) | 石原 海斗 |
| バスケットボール部(男) | 本多 忠幸 (救急医学・准教授) | 小出 豊 |
| バスケットボール部(女) | | 東 琳加 |
| バレーボール部 (男) | 富田 善彦 (泌尿器科・教授) | 仁田 見元 |
| バレーボール部 (女) | | 近藤 美来 |
| バドミントン部 | 松田 健 (形成再建外科・教授) | 吉原 千裕 |
| 卓 球 部 | 土田 正則 (心臓血管外科・呼吸器外科・教授) | 出山 文策 |
| 水 泳 部 | 曾根 博仁 (血液・内分泌・代謝内科・教授) | 比嘉 亮真 |
| 柔 道 部 | 若井 俊文 (消化器・一般外科・教授) | 高瀬 晶 |
| 空 手 道 部 | 菊地 利明 (呼吸器内科・教授) | 小林 弘征 |
| 剣 道 部 | 猪又 孝元 (循環器内科・教授) | 芹澤 寛人 |
| 弓 道 部 | 齋藤 昭彦 (小児科・教授) | 森岡 祥平 |
| ダンス部 魂舞 | 染矢 俊幸 (精神科・教授) | 吉澤 珠水 |

文 化 部

| 部 名 | 部 長 | 代 表 者 |
|---------------|--------------------------------------|-------|
| オーケストラ部 | 河内 裕 (腎研・分子病態学分野・教授) | 葦澤 一太 |
| 合唱部 | 井口清太郎 (地域医療確保・地域医療課題解決支援講座地域医療分野・教授) | 堤 俊之 |
| ESS (英会話) | 神吉 智丈 (機能制御学分野・教授) | 金 亨鎮 |
| MEDICS (軽音楽部) | 鈴木雄太郎 (精神・病院准教授) | 大西 宙 |
| 写真部 | 齋藤 昭彦 (小児科学・教授) | 葉袋 理帆 |
| 俳句部 | 高塚 尚和 (法医学教室・教授) | 関 沙耶香 |
| コンピュータ部 | 小野寺 理 (脳研・神経内科・教授) | 中嶋 大和 |
| 美術部 | 松本 壮吉 (細菌学・教授) | 佐藤 優夏 |
| 茶道部 | 林 孝文 (顎顔面放射線学分野・教授) | 金持 佑紀 |

同 好 会

| | | |
|-------|-----------------|-------|
| 相撲同好会 | 庄司 圭介 (小児科・助教授) | 飛岡 優太 |
|-------|-----------------|-------|

学友会って何？

高校生までは（予備校もでしょうか）、「生徒」と呼ばれるので、「生徒会」では、大学では？

「学生」だから「学生会」…と思いきや、実は学生会という組織はまた別にあります。高校まででいう「生徒会」にあたるものを、新潟大学では「学友会」と呼びます。会員は新潟大学医学部の学生全員が中心であり、学年やクラブの自主的な活動を統率していく自治体のようなものと考えていただければよいでしょう。高校には生徒会が主催する行事があったように、大学にも学友会が主催する行事があります。以下に、新潟大学医学部学友会の主な活動を紹介します。

4月 新入生歓迎会

今この学友会誌を読んでいる新入生の皆さんは、もうきっとこの会の恐ろしさ（楽しさ？）を感じている事でしょう。入学手続きの際もらった資料には「学友会ガイドランス」などと書いてあったでしょうか。連れられるがままに講義室に入り、白衣のお兄さん・お姉さんから飲み物とお菓子が配られ、挨拶がある所まではよかったものの、各クラブの紹介というコーナーになったとたん繰り広げられる不気味な世界……本当に新入生勧誘のために行われているのか疑問に思えてくる恒例の行事ですが、最近ではクリーンなイメージを打ち出そうというクラブが増えてきており、沈静化の傾向にあるようです。もっとも、ここで大爆笑（主に新入生ではなく在学生によるもの!?)を勝ち得たクラブはかえって新入部員が減少する傾向にあり、新入生の入部を心待ちにしている各クラブからしてみれば当然の流れなのかもしれません。

クラブ紹介が終了してからは、新入生の皆さんが興味を持ったクラブの主催する「夜の歓迎会」にご案内。大学生活のスタートに乾杯しましょう。

5月下旬 医学大運動会

長年行われている伝統行事であり、学年・クラブ対抗で競われる学生競技と、科ごとに競われる先生方の競技とがあります。各医局の先生方はこの日のために看板を作り、応援団を結成し、仮装を披露し、燃えまくりです。普段はcoolな

doctorたちが、この日はとばかりに大はりきり。今年の〇〇先生の仮装は何かしら?? 学生は、仮装や応援の助っ人として先生方のお手伝いをしたりします。そのお礼として夜の古町でおいしい思いができるかも?

7月上旬 東医体結団式

我が新潟大学医学部運動部の1年の最大の目標である東医体は、8月上旬～中旬にかけて開催されます。ここでは、東医体に向けて各クラブが目標を宣言し、互いに健闘を誓い合います。

8月上旬～中旬 東医体夏季大会

我が新潟大学医学部運動部にとって1年で最大の大会です。各クラブが日頃の練習の成果を存分に発揮し、全力で戦います。各クラブの成績を点数化し、総合点で大学毎に毎年総合順位が発表されます。

10月上旬 東医体結果報告式

ここでは東医体でのお互いの健闘をたたえ合って先生方とお酒を飲みながら楽しい時を過ごします。キョーレツな芸は影をひそめました。芸の復活はあるか!?

10月下旬 6年生を送る会

卒業試験を終え、あとは国家試験を残して学生生活を終える6年生の先輩方に、学友会から感謝の気持ちを込めて、試験でのご健闘と更なるご活躍を祈念して執り行う会です。先生方から直接、あるいはビデオメッセージにて激励のお言葉を頂いたり、ご両親に送って頂いた幼い頃の写真とエピソードを皆で鑑賞しながらお互いの成長ぶりに驚いたり、後輩の作成するクラブでの活躍を描いたスライドの上映会にて各々の歩んだ軌跡を振り返るなど、数々の企画を楽しんでもらいます。最後に割るくす玉には、国試の合格率を反映するとのジンクスがあり、これを用意する学友会監事もヒヤヒヤです。さて、今年は上手く割れたのでしょうか?

3月中旬 東医体冬季大会

いよいよスキー部の東医体出場。学友会からも応援に駆けつけています。

3月下旬 学友会誌発行

皆さんが今、手にされている学友会誌も、昨年の秋頃から企画が始まり、原稿の依頼、広告取り、編集、校正と作業を進め、入学式の日皆さんにお渡しできるよう発行されます。

学友会の1年は、このように過ぎていきます。この間には、各クラブの代表者から主に選出される学友会四役（委員長・運動部長・文化部長・会計委員）や監事の選出があったり、日頃からの大学と学生をつなぐパイプのような仕事をしたりもしています。充実した大学生活を送れるよう、皆さんと一緒に活動していきたいと思っています。頑張りましょう。